

花の開落

正木不如丘



花の開落

正木不如丘



朝日新聞社

花の開落

昭和三十三年三月一日初版發行

定價二三〇円

著者 © 正木不如丘

發行者 李家正文

印刷者 山田一雄

發行所

東京都有樂町
大阪市中之島
小倉市砂津
名古屋市中小路

朝日新聞社

印刷・精興社

序

自分ごとばかりの思い出や随想なので、ひそかに得意になったり、はずかしがったり、面映ゆくなったりしながら、この一編を一年がかりで書きあげた。

読み直しをすると、削りたくなるところもできようし、つけ加えたくもなるかと思うが、書いているとき心に浮ぶままをさらけ出すほうが、ほんとうの随筆なのだ、と思つてそのまま印刷してもらつた。

書いている間に横道にそれたり、そのうえ道草をしき

りに食べもした。そんな訳で、一体何のために、どんな
目的で書いたのか、と叱られそうだが、ほめられるより
叱られるほうが、実はわたくしには有難いのである。

この序文まで勝手きままなことを書きちらしているの
だから、どうかすべて大目に見て戴きたい。

昭和三十一年十二月

諏訪湖畔にて 正木不如丘

目

次

序

花の開落

十三頁

あんどんと軸 河川法準用区域

泥棒 湖心荘 人の是非

時計列伝 三十三頁

鳩の時計 めざまし時計 恩

賜の時計 銀の光 差押えの

事 三角時計 ストップ・オ

ッヂ

教科書 六十七頁

二十三番 一番 将棋の駒

羽二重 世相是非

言葉の魔術 九十三頁

ありがとう とりあえずなぐる

お袋とおかあさん アクセント

外来語 敬語 自他混合

地方語の上京

実験動物供養

百二十五頁

平家蟹

モルモット

馬

牛

兎

鼠

猫

犬

蛭

鳩

がま

とかげ

蠅

人間

選

挙

百九十五頁

教育の力

立候補

横棒一本

地教委落選

不如丘由来記 二百十七頁

雅号 不如丘 夢声解 北

京飯店 古本一行李

春 夏 秋 冬 二百三十七頁

日本の四季 春夏秋冬 新年

春 夏 秋 冬

装
幀

内
田
武
夫

花
の
開
落

正
木
不
如
丘

花
の
開
落

